2026年11月27日

各　位

会社名　　株式会社データ・アプリケーション
代表者名　　代表取締役社長執行役員　安原　武志
（コード番号：３８４８）
問合せ先　　執行役員　経営企画管理本部長　矢下　秀行
（電話：03－6370－0909）

投資有価証券の売却及び特別利益計上の見込みに関するお知らせ

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：安原 武志、略称：DAL、スタンダード市場：3848）は、ＪＢＣＣホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：東上 征司、以下「ＪＢＣＣホールディングス」という。）が実施する同社普通株式の売出し（以下「本件売出し」という。）に際し、売出人の一社として参加し、当社が保有する同社普通株式の全株式（239,200株）を売却することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本件売出しの詳細につきましては、同社が本日付で公表しております「株式の売出しに関するお知らせ」をご参照ください。

記

１．売却する株式

（１）ＪＢＣＣホールディングス株式会社　普通株式 239,200株(当社が保有する全株式)

（２）売却価格 未定（2026年12月7日から2026年12月10日までの間のいずれかの日において決定される予定）

（３）売却前の保有株式数 239,200株（全株式売却）、売却後の保有株式数 ０株（議決権所有割合：０％）

２．売却の理由

当社は、資本効率の向上および財務体質の強化を図ることが、企業価値の向上に向けた重要な取り組みであると認識しております。このような考えのもと、当社が保有するＪＢＣＣホールディングスの普通株式について、同社より株式売出しへの参加の打診を受け、売出人の一社として参加し、当社が保有する同社普通株式の全株式を売却することといたしました。本件売出しによる資金については、今後の持続的な成長および企業価値向上に向けた取り組みに活用してまいります。

当社は、ＪＢＣＣホールディングスの普通株式を、同社の営業等とのシナジー効果を検討したうえで協業を進め、企業価値の向上を図ることを目的として保有してまいりました。しかしながら、事業環境の変化や資本効率等も総合的に勘案した結果、同社との業務上の関係は株式を保有することなく維持・発展させることが可能であり、当該株式を継続して保有する意義は低下しつつあると判断し、当社が保有する同社普通株式の全株式を売却することといたしました。なお、コーポレートガバナンス・コードの原則１－４などに基づき、保有意義および経済合理性の検証も行っております。

また、同社との業務上の関係は、今後も引き続き維持・発展させてまいります。

３．今後の見通し

本件売出しによる当社から引受人への売却価格（引受価額）は、2026 年 12 月 7 日から 2026 年 12 月 10 日までの間のいずれかの日において決定される予定です。

当社は、本件売出しに伴う特別利益（投資有価証券売却益）を 2027 年３月期第３四半期連結会計期間に計上する見込みです。

本件売出しが 2027 年３月期の業績に与える影響につきましては、売却価格が決定次第、速やかに開示いたします。

以上